

【Will THE JOURNAL】

ウィルの最新ニュースを詰め込んだ【Will THE JOURNAL】をお送りしています。モデルハウスやおすすめの提案住宅、土地、インテリアに役立つ情報などを掲載しています。ご希望の方は弊社までお問合せください。



MODEL HOUSE INFORMATION

【mini-prot Exz】
at マイタウン 稜北 (22街区2画地)

【coco-tique】
at 函館市石川町 479-15
(石川町緑ヶ丘ニュータウン)

【ZERO-CUBE MALIBU】
at 函館市石川町 479-17
(石川町緑ヶ丘ニュータウン)

【NEW STYLE ZERO-CUBE】
at 函館市時任町 26-24

(いずれも公開は土日祝 10:00~17:00)

※モデルハウスの詳細、そのほか宅地等に関する情報
HP、Facebookにて随時更新中です。
【<http://iewill.jp>】

Planning of real estate
Will
【有限会社 不動産企画ウィル】
〒040-0003 北海道函館市松陰町 18-36
TEL.0138-35-6235
E-mail:info@iewill.jp URL:<http://iewill.jp>



住まいのカタチ、暮らしのカタチ。

mini-prot EXZ

mini-protは「家をゼロからつくるのではなく、いくつものプランから選んで、住む人らしさ」をプラスしていくという規格化住宅。最大の特徴は「間取りプラン」があらかじめ用意されていること。これにより、住宅の仕上がりが想像しやすく、家具や照明、ガーデニングなど、お気に入りの暮らしを考える余裕が生まれ、たとえば、家づくりで起こりがちな迷走や、無駄なコストの発生を防ぎ、スムーズで重点を絞った家づくりを叶える。

現在公開中の「mini-prot EXZ」(以下エグゼ)は、このことを体現するモデルハウス。モデルハウスとしては2棟目だが、インテリア・コーディネート増野さんによれば「家はあくまで器、主役は住まい手」というmini-protの視点に、前回のイメージに似通らない「2棟目だからこそ新鮮さ」を意識して作り上げたという。

さて、そんなエグゼ、今回の「見せ方」のコンセプトは30代後半の夫婦と男の子2人の4人家族という設定だ。

「○○テイストと決めずに、さまざまなテイストのミックス、アレンジが今のインテリアの空気です。30代後半ですでない

ろいろな流行を通り、現在は自分の好みをしっかり把握していて、自分達でオリジナルの間を作ることができる、言わば『上級者』の方が惚れ込める家というのを全体のイメージにしました(増野)

家具はひとつひとつ、コンセプトと照らし合わせながら選んでいるほか、細かな点では、器具に目がいきがち「照明」を、今一度「あかり」として機能させる工夫、見直されている「和」のテイストを織り交ぜている点、子ども部屋の「男の子がワクワクする装置」などがある。

家はあくまで器、主役は住まい手。地元ビルダーのトップがみせる家づくり、どうぞ足を運んで、これからのスタンダードとなりゆく住まいのカタチを体感してもらいたい。